



ファッションショー

イベント・シンポジウム等実績報告書 | 配分事業費：1,107千円

フェアトレード全国フォーラム2019 in Hamamatsu における 海外事例報告とパネルディスカッション

目的・趣旨

当大学が日本初のフェアトレード大学なったことを受けて、フェアトレード全国フォーラムの一部企画として、パネルディスカッション「若者、学校にとってのフェアトレード」を実施し、若者、教育機関にとってのフェアトレードの意義と可能性を訴える。

日時・場所

2019年11月30日
静岡文化芸術大学

体制

(実施代表者) 文化政策学部 国際文化学科 教授 下澤 嶽

共催・後援等

(共催) 浜松市

内容

- 午前10時～12時半は、事例報告「学校が生み出すフェアトレード運動」、続けて5名のパネリストによるパネルディスカッション「若者、学校にとってのフェアトレード」を実施した。
- 午後1時40分から4時15分までは、7つの分科会「マナビバ」に分かれて、テーマ別のディスカッションを実施した。
- 午後4時15分から5時15分まで、すべての討論をまとめる「終わりのフォーラム」を実施した。
- 午後5時15分から6時まで、「若者がつくるエシカル・ファッションショー」を実施した。
- 午後6時半からは有志による交友会が実施された。
- 一日企画として、「エシカル・グッズ・スクウェア」を実施し、エシカル商品の展示販売、書籍販売を実施した。



パネルディスカッション



マナビバの様子

結果・成果

フランスの高校の事例報告や学校に関連する活動家の登壇が多かったこともあり、生徒・学生以外に教員の参加が増え、全体で約250名の参加があった。前半は3か国にまたがる交流をアレンジしたフランスの高校の事例が注目を集めた。午後から開催された分科会（マナビバ）は、特にフェアトレードスクールの新たな仕組みの発表した分科会、そして企業のフェアトレードを紹介する分科会に人気が集まり、多くの参加者がつめかけた。

今回、特に注目を集めたのが、エシカルな既成服と、静岡文化芸術大学の学生が地元の布でデザインし、地元学校法人笹田学園が製作した服を組み合わせ、地元の大学生、高校生がモデルとなる「若者がつくるエシカル・ファッションショー」が評判を呼んだ。市長がモデルとして登壇したことも多くの観客の関心を高めたと思う。



エシカル・グッズ・スクウェア



ファッションショー